

一般質問



今後の市政運営について問う



無会派 ● 加藤 貞一郎 議員

問 東庁舎整備事業については、既に過去から8回のタウンミーティング、3回の市民ワークショップまたアンケート調査等を実施した結果、多数の市民の方は、庁舎整備の必要性和その整備方針については、理解を示されていると考えることから、もはや市民に「意見を聞く」のではなく市が提案したい内容を市民に提示すべき段階だと考えるが、市長の考えをお尋ねします。

答 市としては、若い世代との懇談会と庁舎整備検討特別委員会からの答申を踏まえた上で庁舎整備計画案を3月議会にお諮りします。

問 石部文化総合センターの今後の取り組みについてお尋ねします。

答 石部文化総合センターについては、西庁

舎周辺整備の中で、市民活動複合施設の一部として、地域にとつて親しみのある施設を創り上げていくため、もう一度市民の皆さんとの意見交換の場が必要であると考えています。時間は、たっぷりあります。

問 小規模多機能自治構想の推進は、自治体組織や行政組織という大きな範疇の中で、市民の心を動かす最も難しい施策のひとつであり時間の要する行政改革であるとの認識から市民の理解を得るための取り組みについてお尋ねします。

答 市民に施策の理解を求めするため、様々な媒体を活用し啓発していくと共に市民との対話を重ねながら丁寧な説明をしていきます。



水道の耐震化について



無会派 ● 松原 栄樹 議員

問 能登地震の長期に渡る水道断水を受けて、国は全国で避難施設等重要施設への、上・下水道の耐震化率の状況を公表しました。このことについて。

答 国の公表は、上・下水道管の耐震化です。県下では湖南市を含めて16市町が0%です。本市の上水道の耐震化率は28.4%であり、上水道は老朽管路の更新と耐震化に向けて「施設更新計画」、下水道は「下水道管路施設総合地震対策計画」により漸次進めていきます。

問 水道管の耐震化は事業費が多大です。今回、国は補助金の見直し拡充をするようですが。

答 いつどこで起きるかも分からない自然災害に備えて、避難所・拠点病院等への水道耐震化は喫緊の事業です。

国の動向を注視しながら対応していきます。

甲西中学校・夜間学級について

問 4月、開設予定の滋賀県唯一の甲西中学校夜間学級について、応募状況は。

答 県内在住、もしくは湖南市在勤で学び直しを必要とされている方に、広く周知を行ってきました。10月の説明会に17名の応募があります。12月の説明会にも12名の申し込みがあります。

問 受け入れ体制と、問題点について。

答 教職員は県教委人事ですが、年齢・国籍・その他の事情にかかわらずなく教育を受ける機会の確保と、豊かな人生につながる教育水準の維持向上のための人事を要望しています。他、通訳者等の件もあり県教委と連携します。